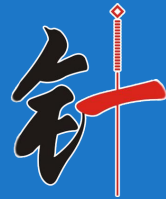




山东畜牧兽医职业学院

中国鍼灸療法



低周波パルス治療器の使用方 & 症例分析

Hou Xiantao

2019-02-24





自己紹介

- **講師：**山東畜産獣医職業学院； ペットテクノロジー学科
授業：《ペット中医理療保健/小動物鍼灸技術/小動物影像学》
- **客員医師：**教学動物医院（中西結合センター）
- **担当者：**山東省ペット鍼灸伝承創新平台モデレーター
- 全国第一期中獣医中生年**優秀教師**
- 全国“中獣医臨床千年養成計画” **専門家顧問構成員**
- 多家ペットクリニック **技術顧問**



聚焦

给狗针灸的人：侯显涛



自己紹介



080-4683-8960(Japan)



134-5564-2380(China)



14975218

xthou_1@163.com



xiantaohou9@gmail.com



本日のメニュー

1

低周波パルス療法とは？

2

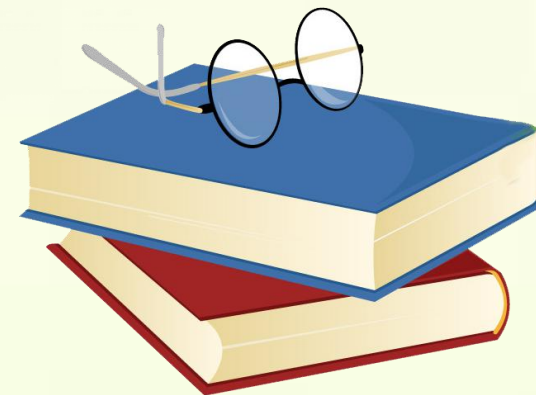
低周波パルスの仕組み

3

低周波パルス治療器の使用方法

4

臨床症例の分析





一. 低周波パルス療法とは

➤ 低周波パルス療法とは

中獣医理論も指導の下、適切なツボを選択し、適した鍼灸器具で刺激し、同時に低周波パルスを接続して、鍼と電気の共同作用によって、経絡を疏通し、気血を調和し、その上で動物の健康を回復する療法である。





一. 低周波パルス療法とは

電

+

針





一. 低周波パルス療法とは

電

➤ 1. (低周波) パルスの作用

A. 神経・筋肉・組織の興奮

イオン透過性を変え、イオンの活動の興奮させ、筋肉の収縮反応を引き起こす

B. 鎮痛作用

鎮痛作用を有する類似物質を放出し、虚血を循環させ

C. 血液循環の改善

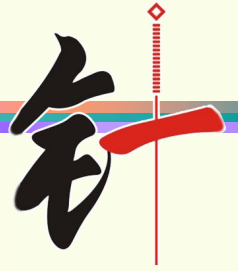
軸索突起反射を通し、局所の充血を引き起こし、筋肉の律動性収縮と弛緩を促進するポンプの作用、血液とリンパ液の循環を促進する

D. 消炎消腫

組織水腫の軽減
非特異性炎症の除去



一. 低周波パルス療法とは



➤ 2. 鍼の作用

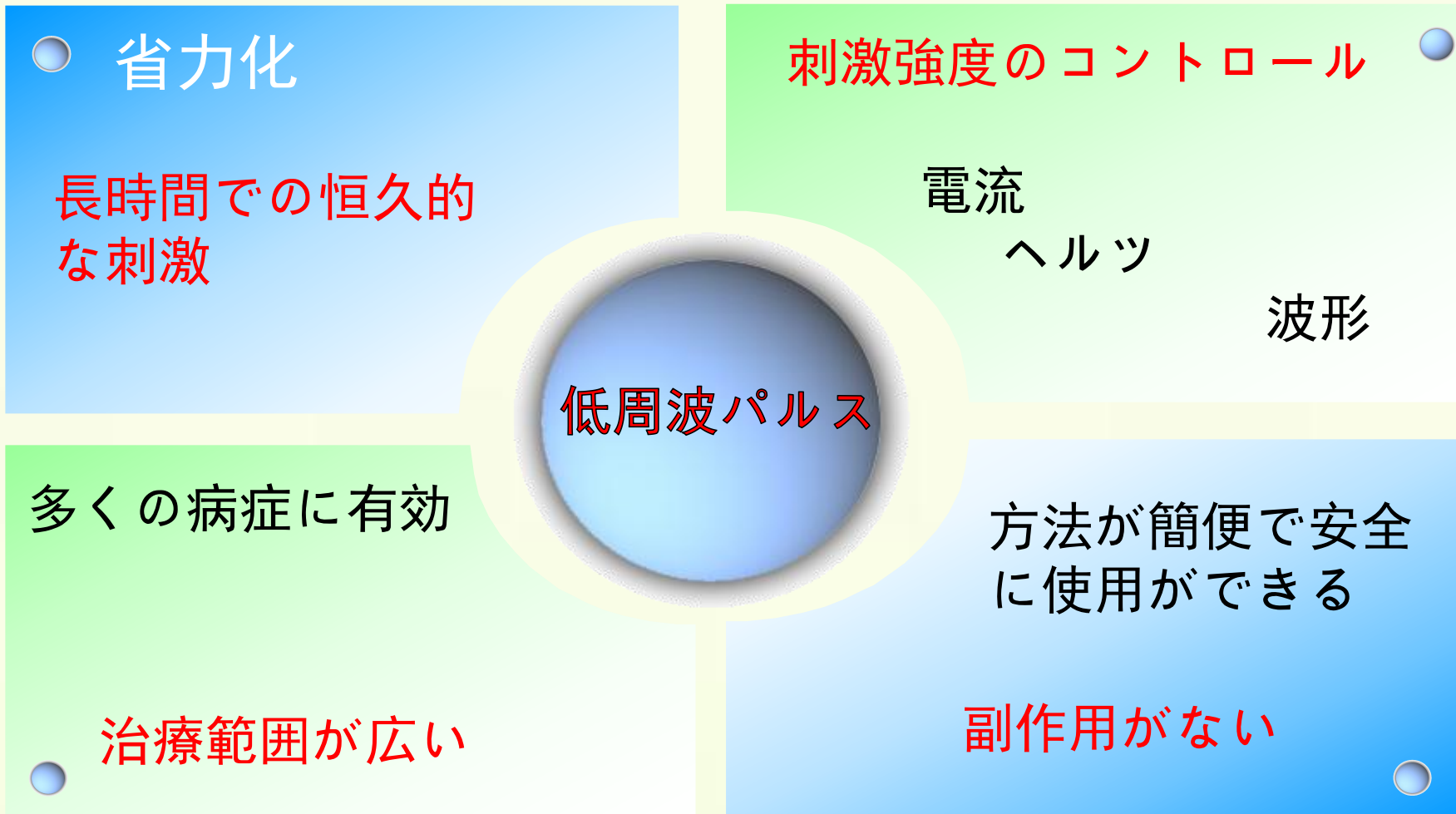
一般的な病は、全て気血の壅滞によ理、宣通が悪くなることが原因、鍼をもって開道し、灸をもって温める。《千金翼方》





一. 低周波パルス療法とは

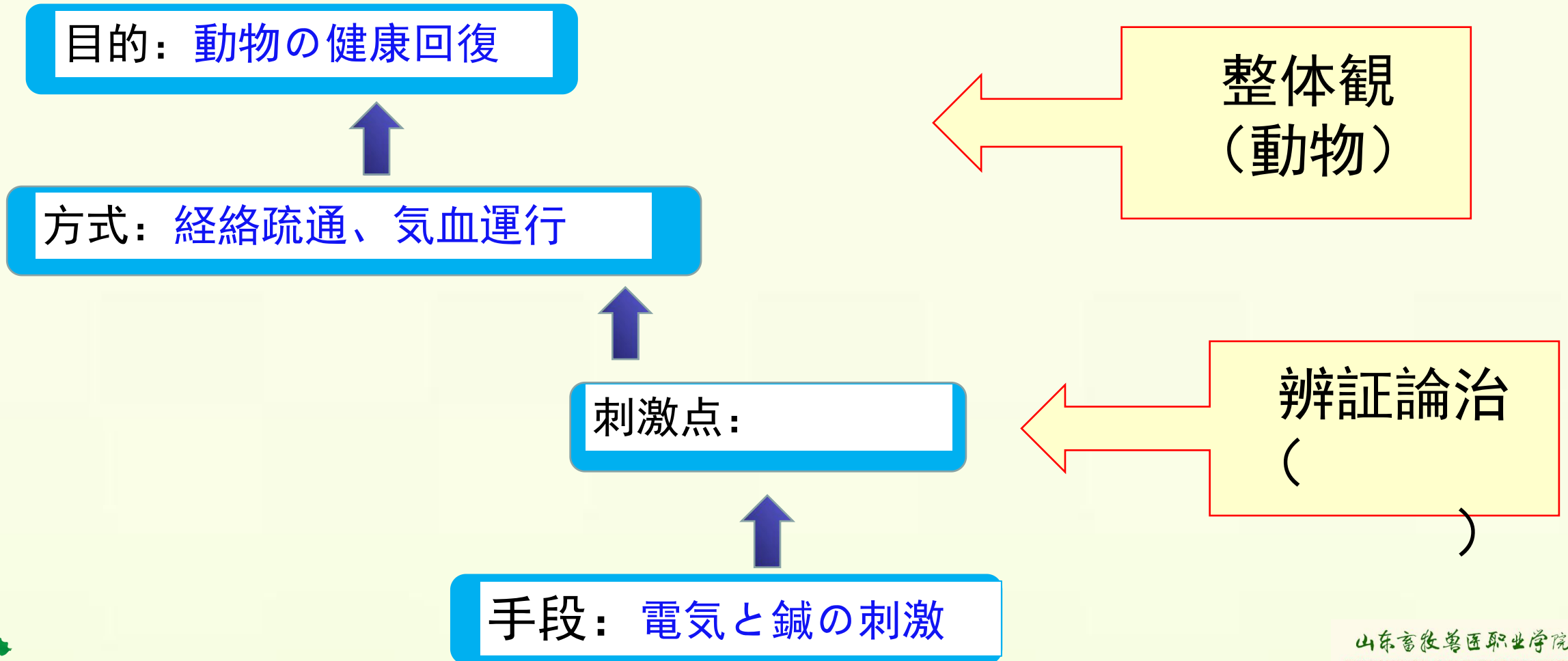
➤ 3. 電気＋鍼の共同作用





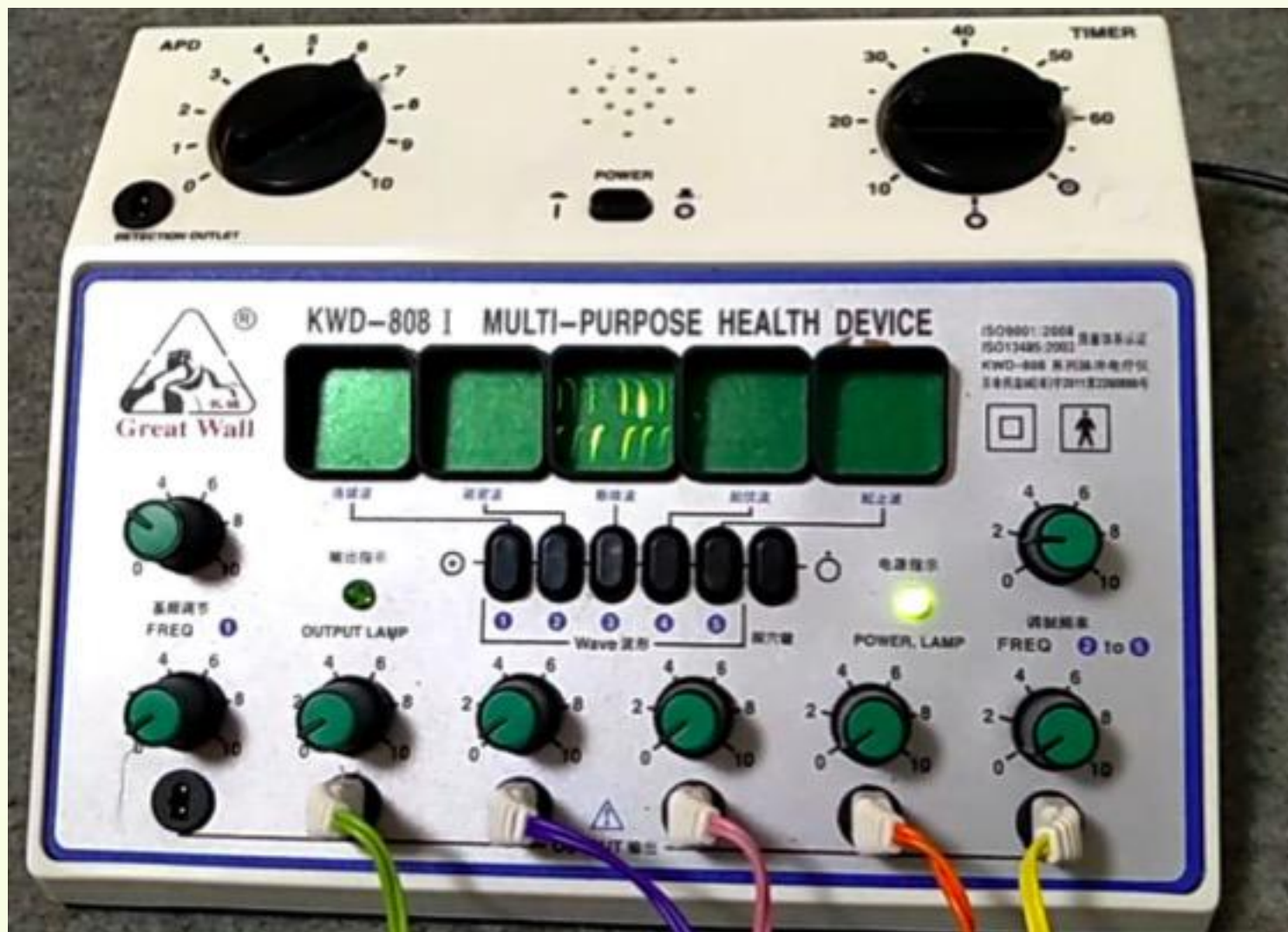
一. 低周波パルス療法とは

➤ 4. 低周波パルスの過程は中医理論の応用過程である





二. 低周波パルス治療器のメカニズム





二. 低周波パルス治療器のメカニズム

探測の敏感度

時間調節

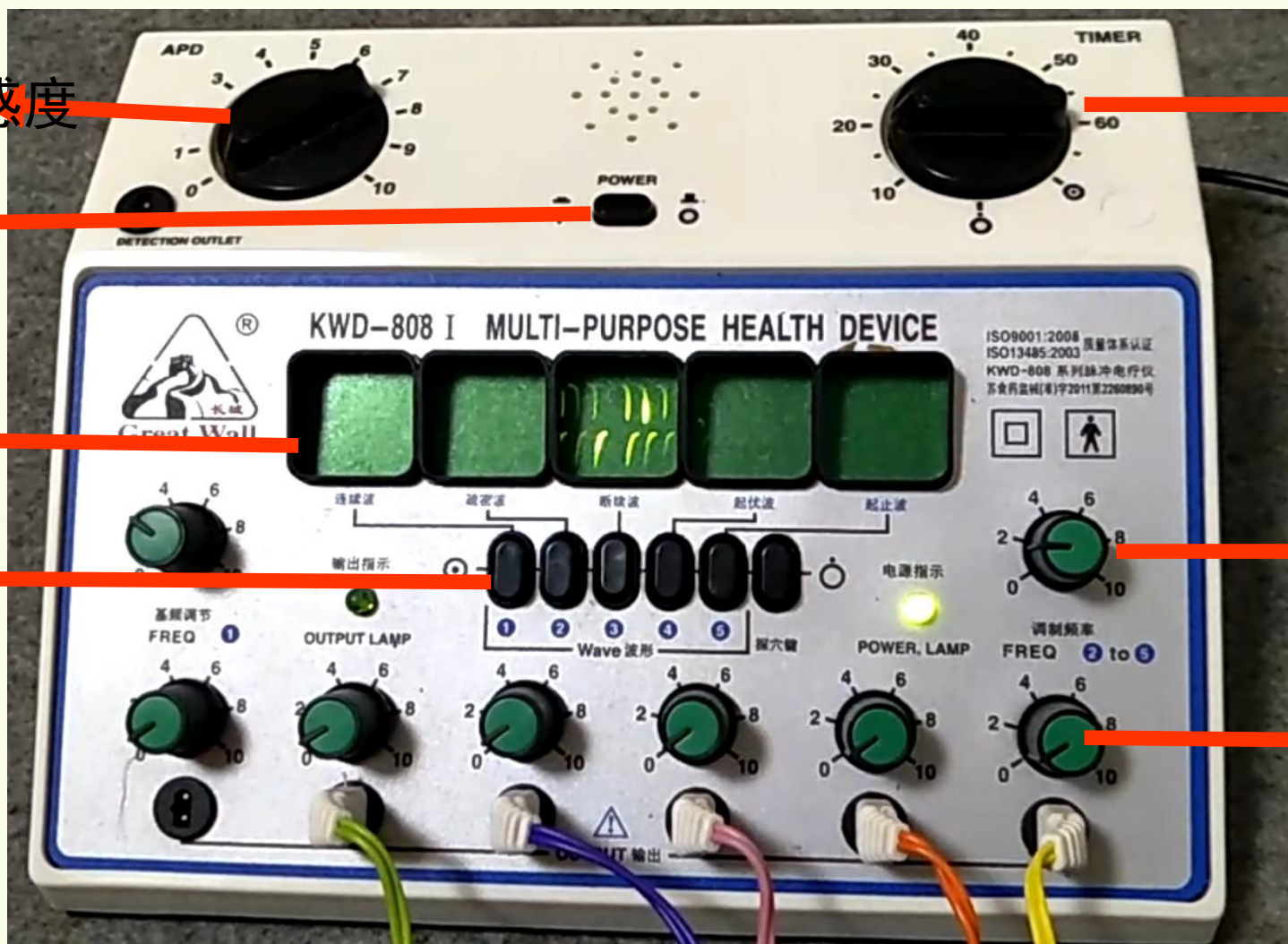
on/offスイッチ

波形表示

波形選択

調節

強度調節





二. 低周波パルス治療器のメカニズム



起止波

与起伏波不同，**瞬间降低**或**瞬间升高**（起伏波は徐々に下がって徐々に上がる）

作用:

浸出液の吸収の促進
筋肉、神経の興奮
局所の凍傷など



二. 低周波パルス治療器のメカニズム



ツボ探索

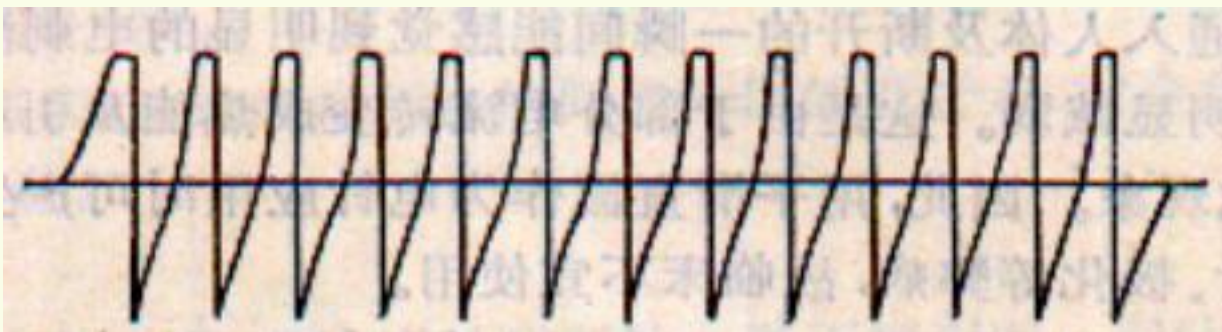
臨床不常用，不做介绍



二. 低周波パルス治療器のメカニズム

1. 連続波 疎波と密波も包括

疎波： 2～5次/s 筋肉靱帯の張力の向上



密波： 50～100次/s

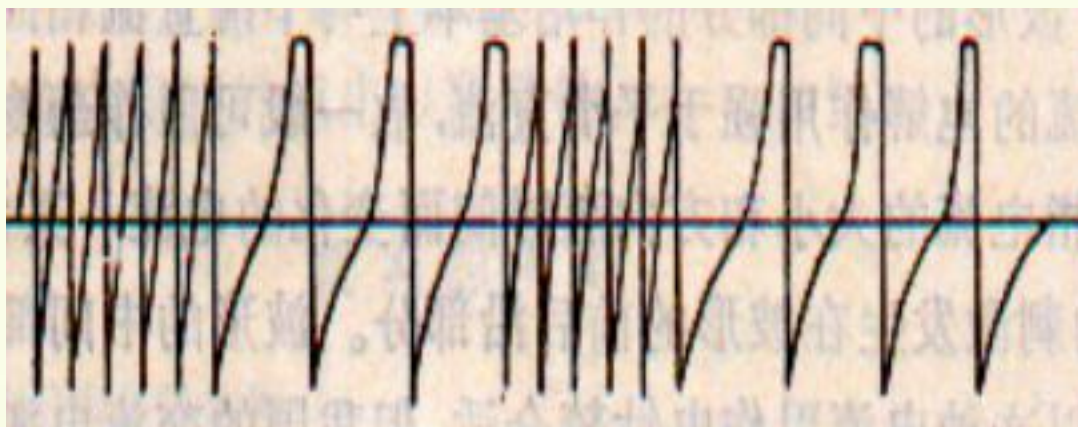
鎮静、止痛；
筋肉と血管痙攣の緩和
鍼麻醉



二. 低周波パルス治療器のメカニズム

疎密波

代謝、気血循環の促進
組織の栄養改善、炎症性水腫の除去



疼痛治療、捻挫、関節炎
気血の運行障害、坐骨神経痛
顔面神経麻痺、筋無力症、局所の凍傷など

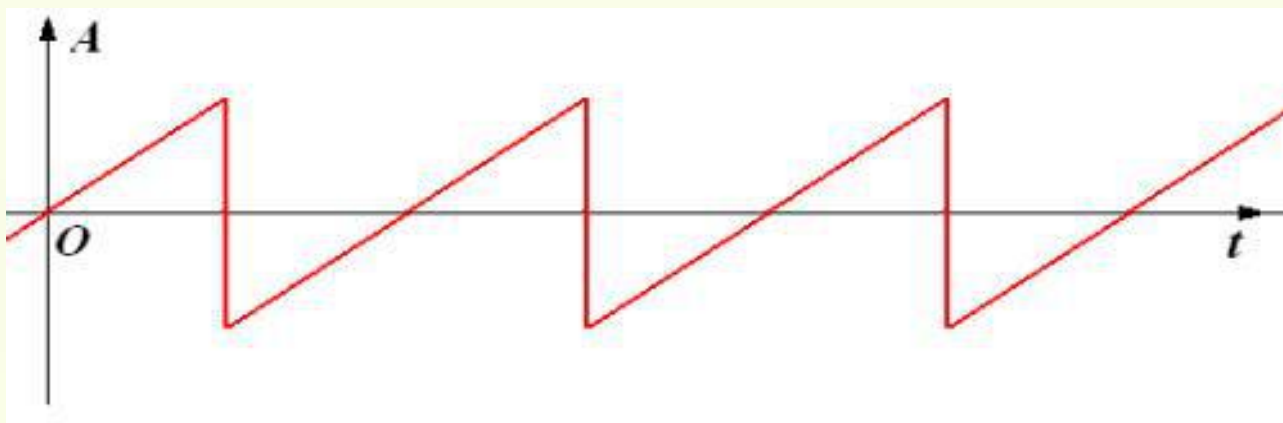




二. 低周波パルス治療器のメカニズム

鋸歯波（呼吸波、鋸齒波）

16-25次/min, 人の呼吸リズムに似ている



神経筋肉の興奮性の向上
経絡の調整、気血循環の改善

治療:

各種適応症に, 適用





一般社名: 信同通信株式会社
JANコード: 3837/2000
登録商標/特許取得済

Lasper-A

ラスパーエース



取扱説明書

ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも読めるところに保管してください。



③ タイマー選択 & 周波数音量つまみ

④ 周波数選択つまみ

⑤ モード選択つまみ

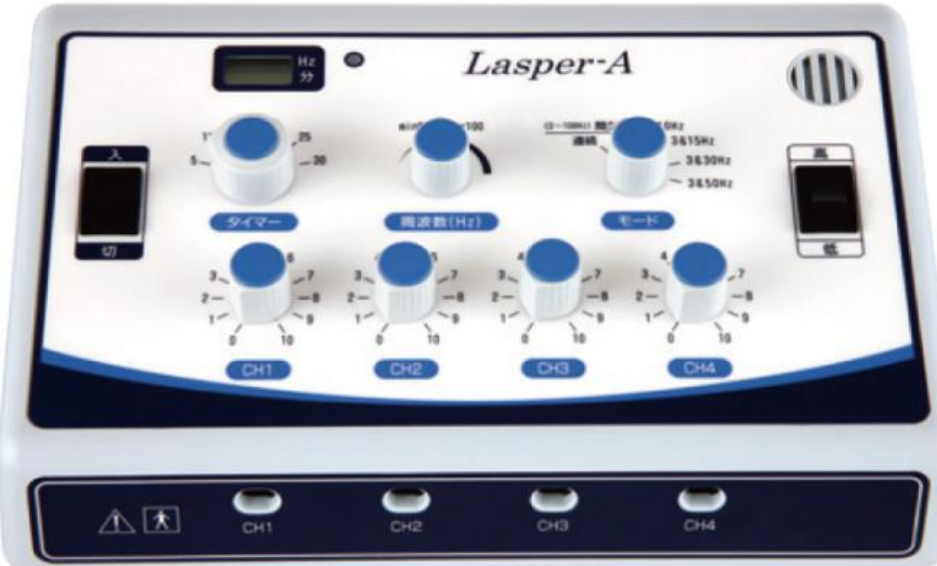
⑦ タイマー表示



パルス (低周波治療器)

Lasper-A

ラスパーエース Version-2



① 電源スイッチ

⑨ 導子コネクタ

② 出力強度切り替えスイッチ

⑥ 出力レベル調整つまみ



三. 低周波パルス治療器の使用方法

1. どのようにスイッチを入れるか?
2. いかに接続するか?
3. どのように調整するか?
4. 使用時間
5. どのようにスイッチを切るか?





三. 低周波パルス治療器の使用方法

保定と消毒

保定消毒

1

连电针机

3

パルス治療器との接続

退针归零

5

退針とゼロ還元

進鍼てし穴選

2

选穴进针

4

调节电针

整調の器療治スルパ



三. 低周波パルス治療器の使用法

1. 動物の保定



必ず自然の状態で



三. 低周波パルス治療器の使用方法

2. 選穴と進鍼





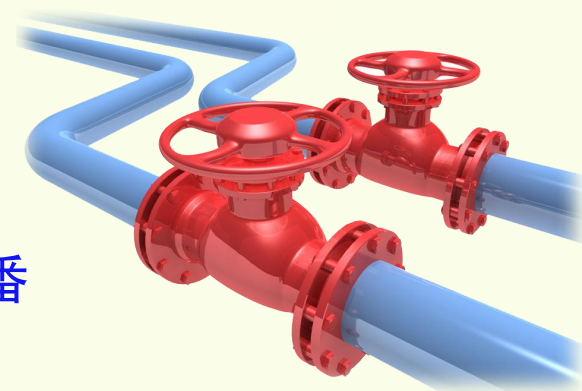
三. 低周波パルス治療器の使用方法

2. 選穴と進鍼

数量

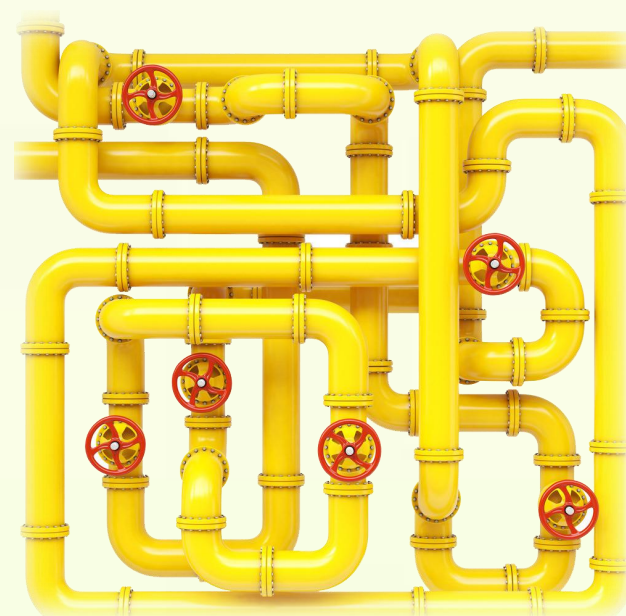
多いか？ 少ないか？
面

更に少ない
ちょうどよいが一番



位置

どの経絡のツボか？
線



辨
証
論
治



三. 低周波パルス治療器の使用方法

2. 選穴と進鍼

位置

(解剖学位置/刺激点)
点

腎俞

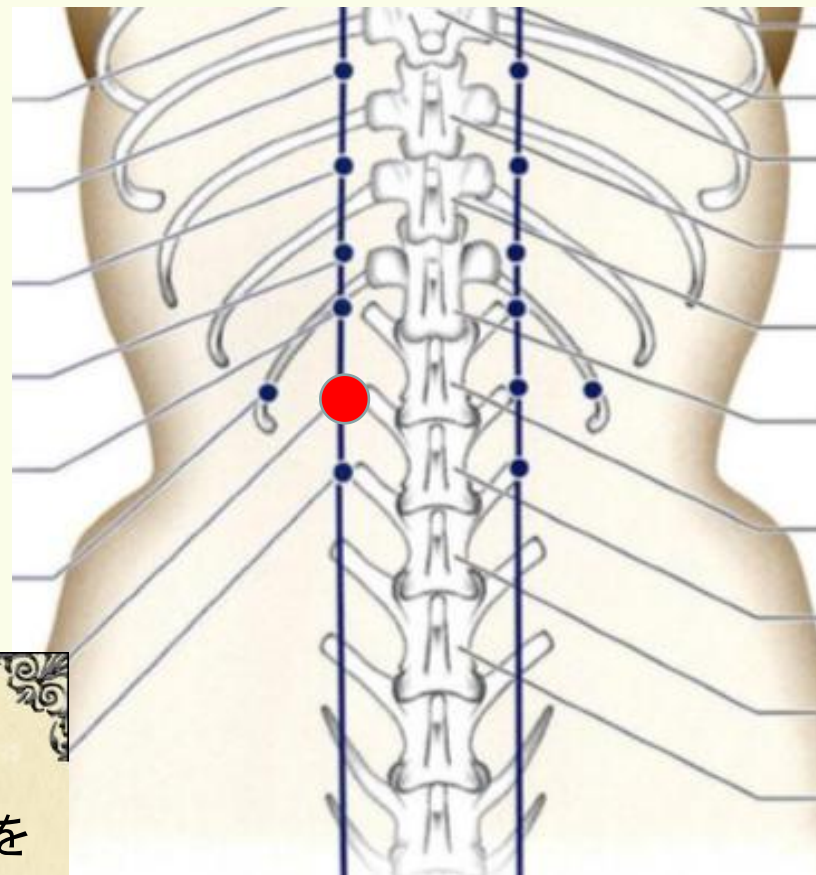
第2腰椎の横突起末端に45度の角度で進鍼

深度???

- A. 方向/角度
- B. 深度

得気

術者の手の下を感じる張ったような感覚
患者には足を挙げたり、腰を曲げたり、尾を振ったり、局所の筋肉の収縮やピクピク動くのが発現する。





三. 低周波パルス治療器の使用方法

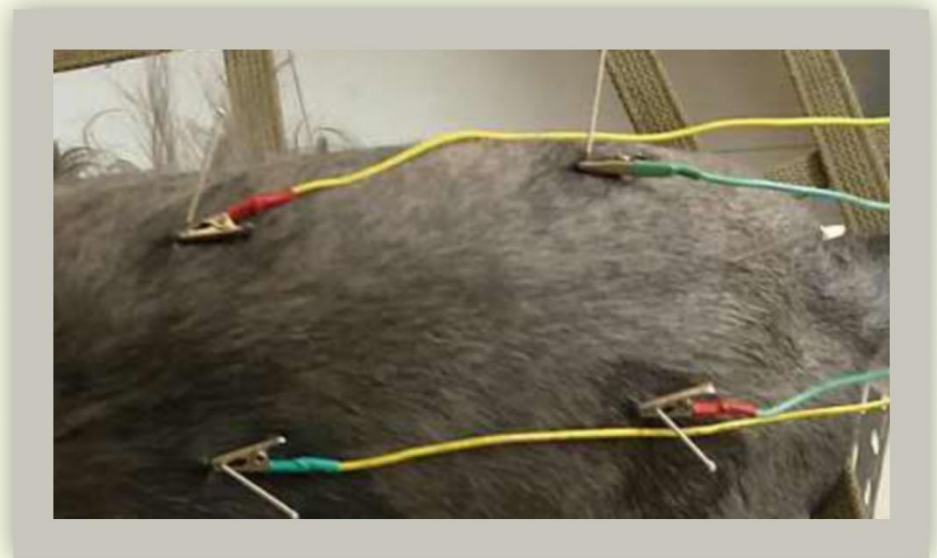
3. 治療器への接続

陽極



陰極

バランスの変則
一般的には



- 四肢部位： 上下接続
- 背部腧穴： 左右接続
- 同一経絡： 前後、上下接続

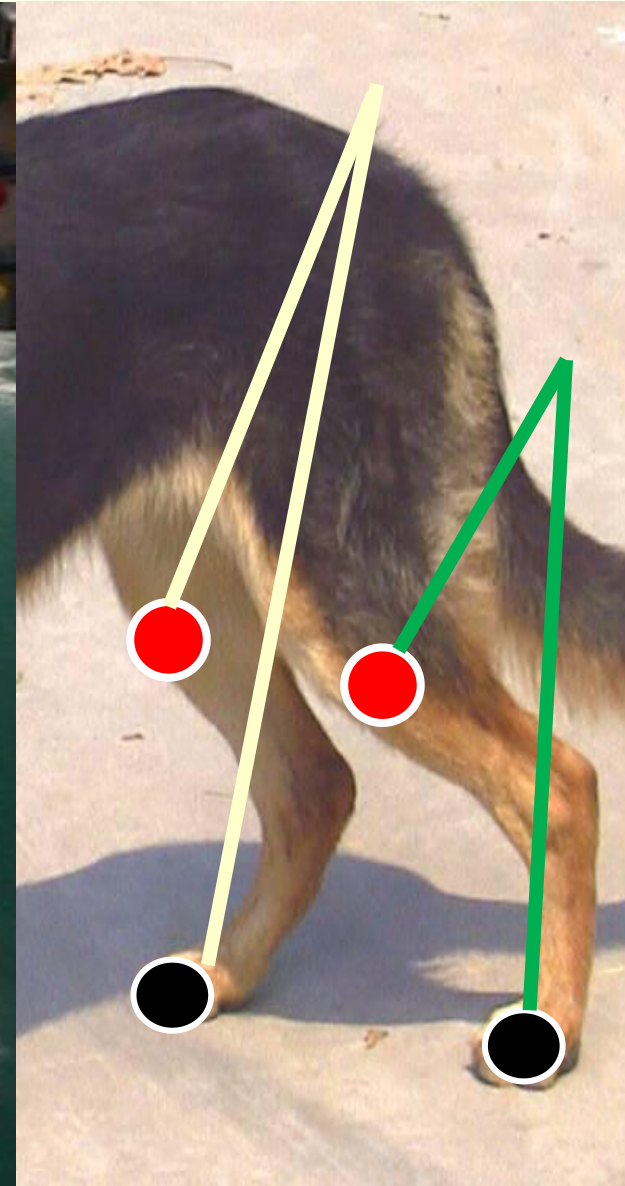
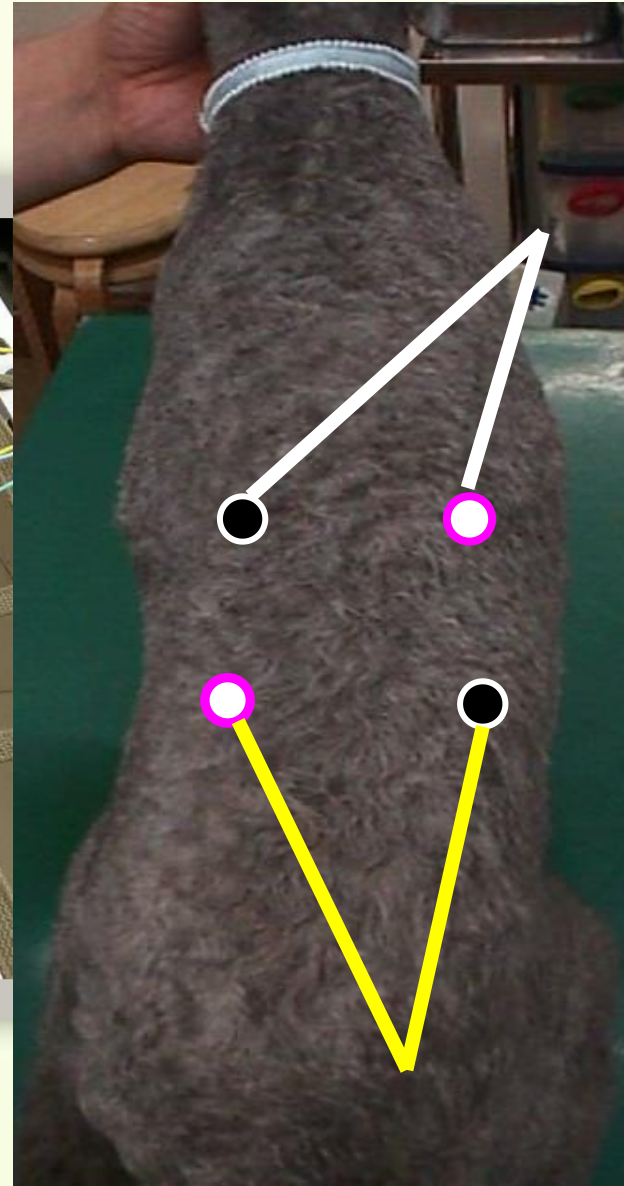
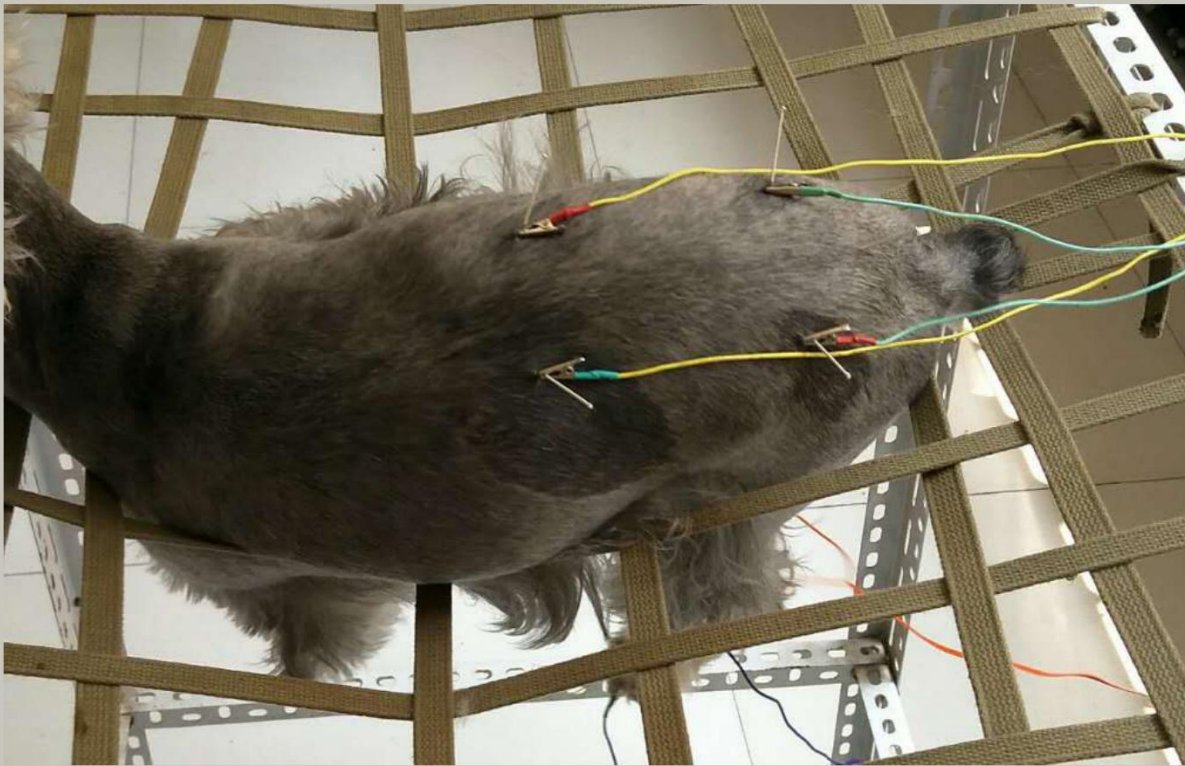


低周波パルス接続時には、鍼体をクリップで挟む（被毛付近も）



三. 低周波パルス治療器の使用法

3. 治療器への接続



バランスの変則





三. 低周波パルス治療器の使用方法

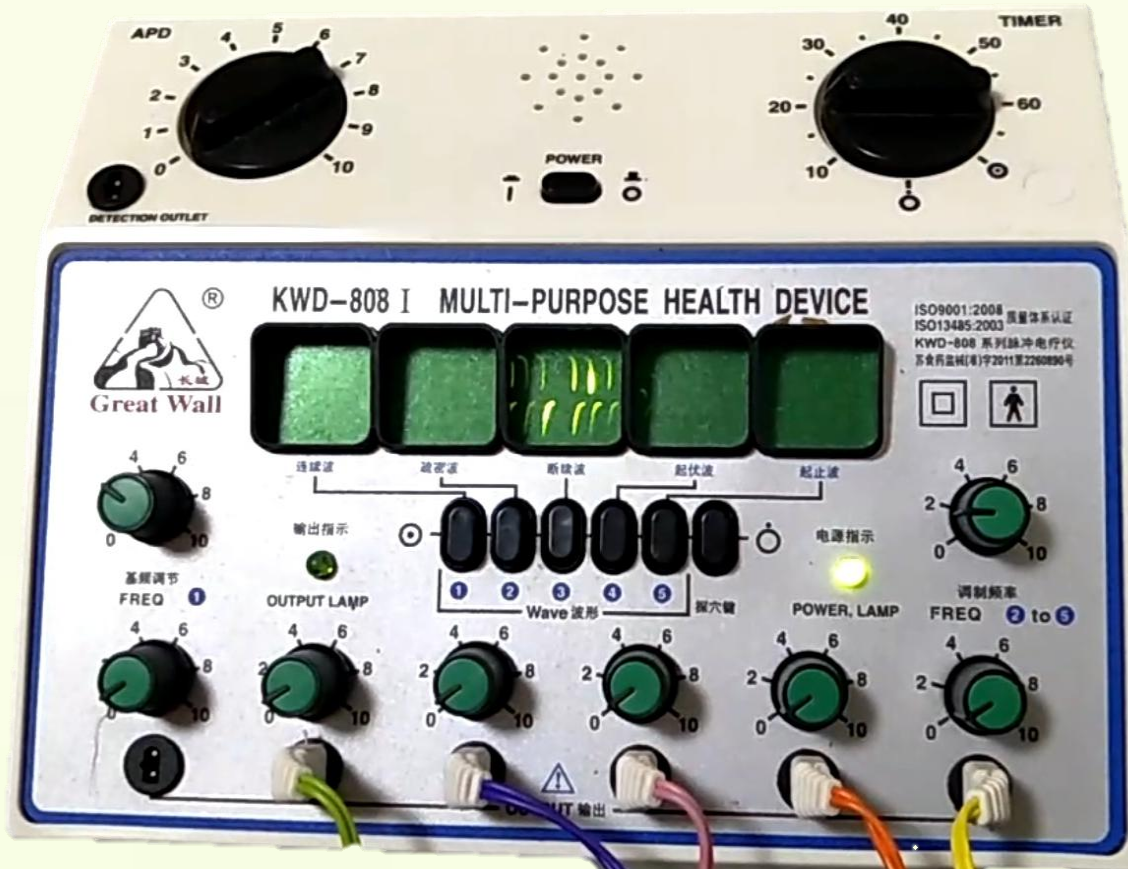




三. 低周波パルス治療器の使用方法

4. 低周波 治療器の調整

波形 治療目的によって波形を選択



時間<0.5時間
鍼灸への耐性の産生を防止する

ヘルツ：
2-4（低ヘルツ）

強度の調節
最大限の耐えうる強さ



三. 电针机的使用方法 低周波パルス治療器の使用方法

5. 退针归零

1. 出血
2. 鍼の紛失
3. 滞针

1. すべてのスイッチを0にする
2. コードを整理する
3. 環境と器具を衛生的にする
4. 飼い主との治療におけるコミュニケーションを図る



四. 典型病例分析 症例分析

1. 交通事故（外傷）



四. 典型病例分析

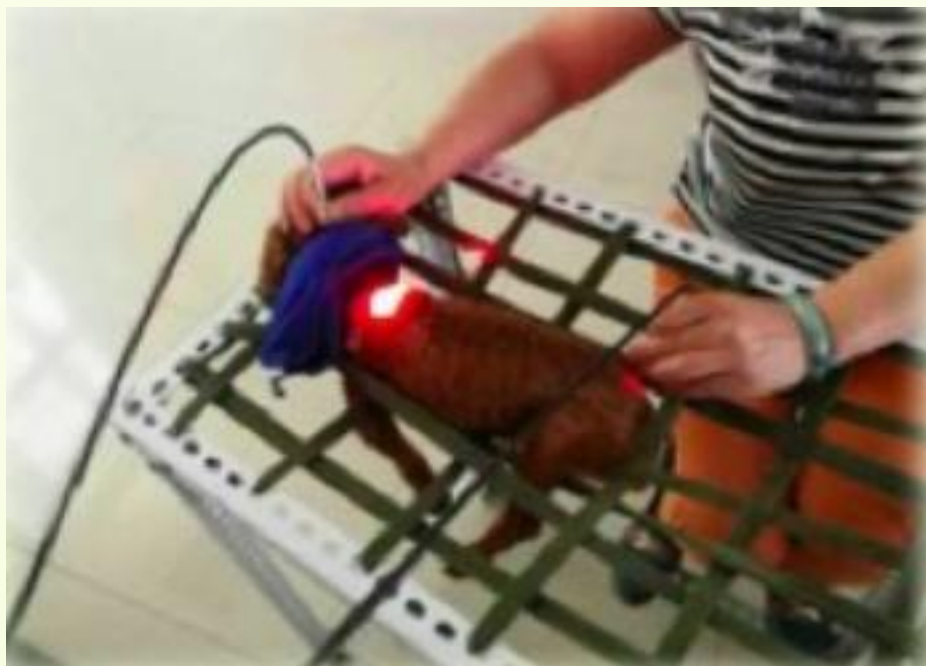


起立不十分



ふらつきながらの歩行

氦気激光針



思いのままの運動つまずき





四. 案例分析

2. 剖腹产后瘫痪

(原因不明)



首次生产，到第四胎时无法产出



四. 症例分析



分娩前は異常なく、分娩後に半身不随になる



まず、機能障害異常を考慮する



陰経を刺激する

任督脈を通る、即ち百脈を通る

任脈は血を主る、故に陰脈の海
(器質性、内側)

督脈は気を主る、故に陽脈の海
(機能性、外側)



前选大椎，后选百会



四. 症例分析



起立不能（骨格が身体を支えることができなくなる）

腎（骨を主る）【後肢少陰腎経】

【後肢太陽膀胱経】

腎は骨を主る
腎と膀胱の表裏関係

伏兔（前）腎俞、膀胱俞（委中（BL40））

筋無力（後肢筋肉の萎縮）

足三里 髀關

脾（筋を主る）【後肢太陰脾経】

【後肢陽明胃経】



四. 症例分析



運動異常（筋腱、筋膜がその機能ができなくなる）

肝（筋を主る）【後肢厥陰肝經】

【後肢少陽胆經】

風池（前）；環跳（後）
風池（前）：環跳（後）

尿失禁：糞便の自力排泄不能

腎俞、膀胱俞：足三里

膀胱；脾胃

太陽膀胱經、陽明胃經



四. 症例分析

まとめ

督脉：大椎（颈胸结合部）；百会（腰部十字部）

膀胱经：伏兔；肾俞、膀胱俞、委中

胃经：足三里、髀关

胆经：风池（前）、环跳（GB30）（後）

趾間；諸經の交界





四. 症例分析



判断障害
(視神経或いは脳部の損損傷)

眼科異常
(肝は目に開竅)

大量の抗生物質投与による
(清肝明目)

大量の糖液の補液、利尿
(肝代謝の促進)

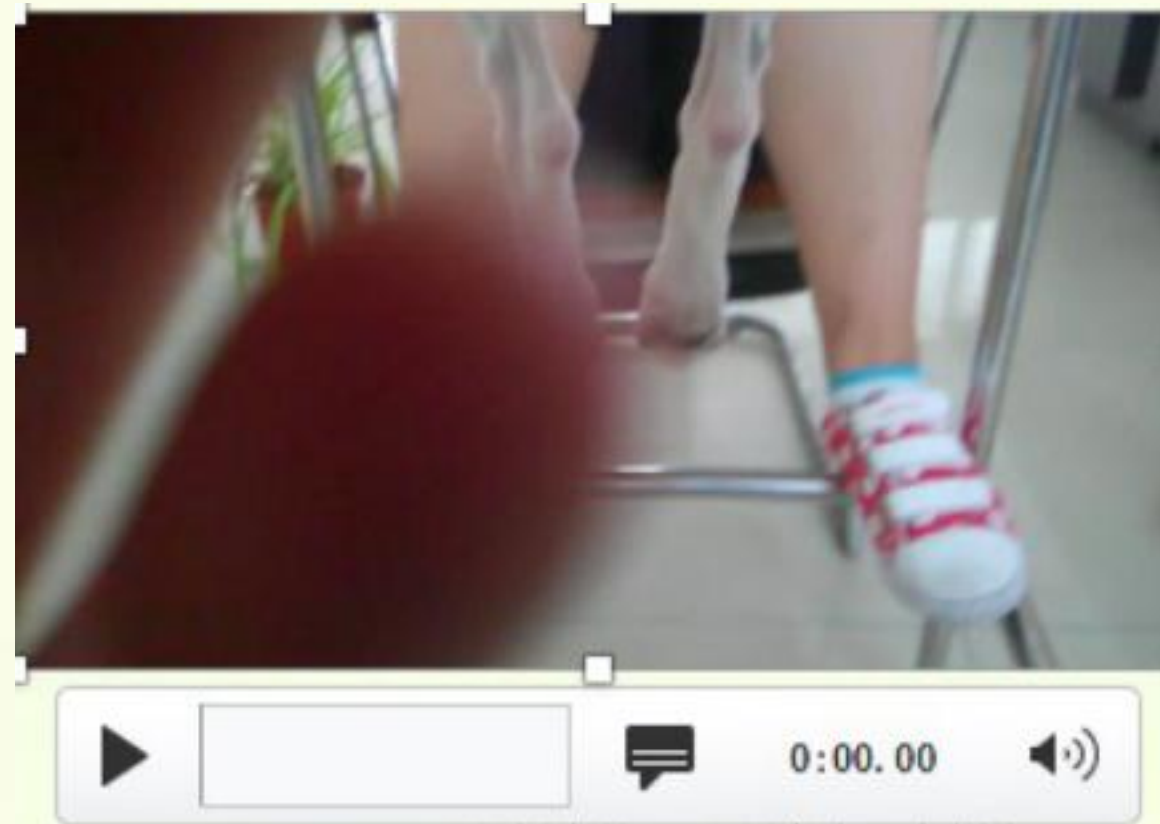
四. 案例分析



、4歳、
脱出、鍼灸2影で治癒

IV 椎間板ヘルニア、髓核の

四. 症例分析



刺鍼後の反応（鍼灸治療5回目）

半年後

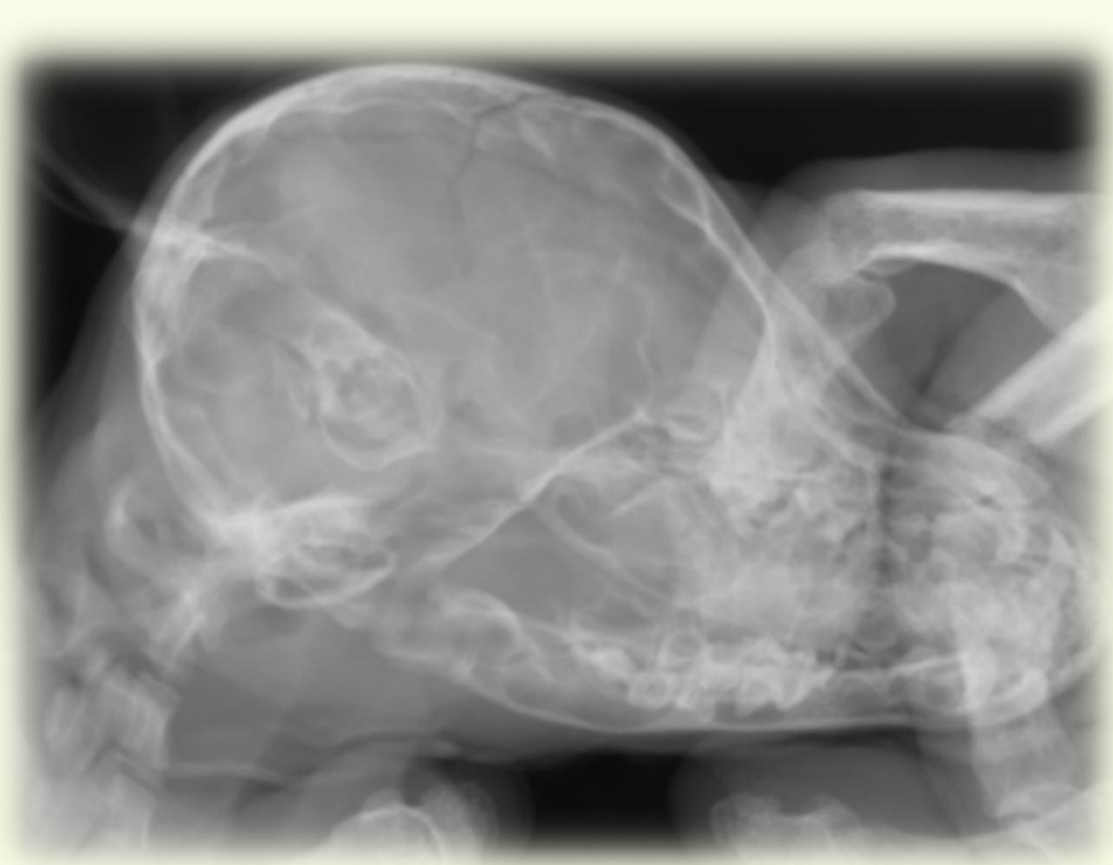


四. 症例分析

雜種犬、飼い主によってベルトで叩かれた後、頭部を持ち上げられなくなったり、起立不安定などの症状が発現したはりちょう鍼灸治療のために学生に引き渡された。



大後頭孔形成不全



頭蓋骨骨折





四. 症例分析

2. 伏兔 (低周波パルス治療左右接続)

治療後

治療前

治療のツボは？

1. 大椎 (白針)





四. 症例分析

3. 顔面神経麻痺

だんだんと採食が困難、呼吸困難になる
安静時、両眼が閉じず、扶助が必要になる
発病後期には、流動食を受動的に摂取する必要がある。



四. 症例分析

頭部は諸陽の会、頭部上位に刺鍼。

瞼が閉じない

後肢太陽経は、目の上の筋肉群を調整する・伏兔穴

後肢陽明経は目の下の筋肉群を調整する。鎖口穴と開関穴

口が開かない)

前肢太陽経筋

聴宮穴

後肢陽明経筋

鎖口穴、開関穴

鼻の虚脱と嗅覚障害

前肢陽明経大腸経

姜牙穴

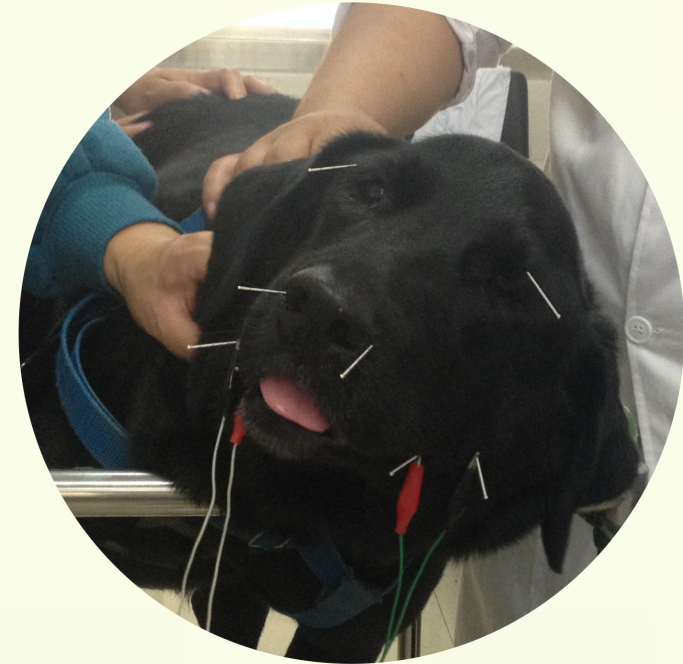
局部取穴

前肢少陽三焦経上の眉毛

丝竹空穴

後肢少陰三焦経の眼窩外縁

転脳、上関





四. 病例分析





まとめ

低周波パルス療法の根本は鍼にあり、電気ではない)

鍼 電

鍼法の重要なところは選穴である，選穴は辨証論治を基礎に行う

中獣医学の精髓は和であり、簡単な方法を以って、複雑な問題を解決することである。





足りないところがあったら、許してね!

谢谢

